

平成30年度使用教科書選定理由書

【1 選定に係る基本方針】

本校は、「知性と教養を高め、人間性豊かな、心身ともに健全な若人を育成する」という教育目標を掲げている。目指す学校像は「一人一人の生徒を、教職員総がかりで、社会に貢献し活躍できる人材に育て上げる学校」である。

本校では、平成23年度から発展的な学習を行う総合進学クラスを学年ごとに設置し、学習意欲の高い生徒が在籍している。一般クラスでは、基礎基本の定着が必要な生徒、進学を意識した学習が必要な生徒と生徒の学力は幅広い。就職希望の生徒や専門学校への進学を希望する生徒も多く、大学・専門学校・就職と、生徒の進路希望も多岐にわたる。そのため、本校では、生徒一人一人の進路実現に向けての指導にきめ細かく取り組んでいる。

このような生徒の実態を踏まえ、以下の3つの観点から教科書選定にあたっている。

- ①「基本的項目が充実しているか」
- ②「大学受験の基礎となるような発展的な内容にも触れているか」
- ③「卒業後も進路先にて活用できるような内容を含んでいるか」

また、前述の3点に加えて以下の3点についても留意しながら組織的に研究を重ね、精査の上、教科書選定にあたっている。

- ①「生徒の興味・関心をひくような内容であること」
- ②「分かりやすい図・写真・グラフなどを多く用いている理解し易い内容であること」
- ③「題材が生徒にとって親しみやすいものであること」

※ 学習指導要領、学校教育目標、学校や学科の特色、生徒の実態等を踏まえて、学校としてどのような方針をもって教科書選定を行うかを示す。